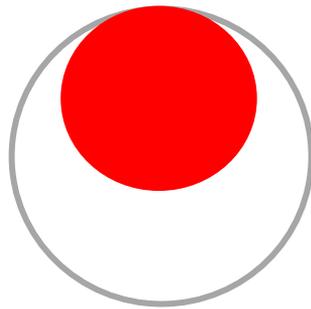


空手道型

慈韻



日本空手協会 児玉支部(春風館)

注 記

本資料の出典・引用・参照文献等は下記を基に作成しております。

1. 空手道型 社団法人日本空手協会師範会

2. ベスト空手 中山正敏 著

作成は「空手道型」をベースに、参考文献として「ベスト空手」の内容や、総本部指導員招聘による埼玉県本部指導者講習会での講習内容等を注釈の上、挿入しております。

本「慈韻」に関しては、大坂可治師範より頂戴したものである。

本資料は日本空手協会 児玉支部会員の、稽古の補助資料として作成したものであり、目的外の使用を禁ずる。

令和3年11月28日

児玉支部長 大関 三喜男

形 慈 韻 (ジーン)

「用意」 閉足立にて、右拳を左掌で軽く包み顎前に構える。

「十手、慈音の用意の姿勢に同じ」

1 挙動、右足そのまま、左足を後方に引き下げ、(右前屈立) となりながら、左中段内受、右下段払。

「両腕の動きは、慈恩の1挙動の逆構え」

2 挙動、右足の位置はそのまま、左足を右足の横に踏み出し、左方に(右後屈立) となりながら、右上段裏腕受
(協会は、右側面上段内受)、左下段払受、着眼は右方向。「慈恩の18挙動の逆構えと同じ。」

3 挙動、両足の構えはそのまま、右方に振り向きながら(左後屈立) となり、左上段裏腕受 (協会は左側面上段
内受)、右側面下段払受、着眼は左方向。「慈恩の19挙動の逆構え」

4 挙動、両足の位置はそのまま、左足を左斜め前(左45度)に踏み出し(左前屈立) となりながら、
左上段揚受。

5 挙動、左足の位置はそのまま、右足を一步前に踏み出しながら右中段順突。

6 挙動、左足そのまま、右足を右斜め前(右45度)に移し、(右前屈立) となりながら、右上段揚受。

7 挙動、右足の位置はそのまま、左足を一步前に踏み出しながら左中段順突。(左前屈立：左中段突)

8 挙動、右足そのまま、左足を正面の方へ移し、左前屈立となりながら、左下段払。

(慈恩の22挙動、と同じ)

9 挙動、左足の位置はそのまま、右足を正面前方へ一步踏み出し(騎馬立) となりながら、

右中段手刀打、左拳左腰。

(底掌受：平手受：熊手受：手刀打；の四つ説があるが、協会は、中段手刀打にしている。)

「ここでは、慈恩の23挙動：24挙動：25挙動の同様の足運び。」

- 10 挙動、右足そのまま、左足を一步前に踏み出し（騎馬立）となりながら、左中段手刀打、右拳右腰。
- 11 挙動、左足そのまま、右足を一步前に踏み出し（騎馬立）となりながら、右中段手刀打、左拳左腰。「気合!」
- 12 挙動、右足を軸に、左足を左斜め後方へ移し、振り向きながら左前屈立となりつつ、両腕にて、ゆっくり中段搔分受「慈恩の2挙動と同じ、両拳中段搔分け受。」
- 13 挙動、両拳および左足（左前屈立）そのまま右足で右中段前蹴。
- 14 挙動、蹴り足を前に下ろしながら（右前屈立）、右中段順突。
- 15 挙動、両足そのまま（右前屈立）、その場で左中段逆突。（14 挙動：15 挙動は、連突）
- 16 挙動、両足そのまま（右前屈立）、その場で左中段内受：右下段払。（1 挙動、同じ）
「中段逆突から、突き手で中段内受をし、引手で下段払をするのが、この形の特徴である。」
- 17 挙動、左足そのまま、右足を右斜め前に移し、右前屈立となりつつ、両腕にて、ゆっくり中段搔分受。
12 挙動、の反対「慈恩の7挙動と同じ、両拳中段搔分け」
- 18 挙動、両拳および左足（右前屈立）そのまま左足で左中段前蹴。
- 19 挙動、蹴り足を前に下ろしながら（左前屈立）、左中段順突。
- 20 挙動、両足そのまま（左前屈立）、その場で右中段逆突。
（19 挙動：20 挙動は、連突）
- 21 挙動、両足そのまま（左前屈立）、その場で右中段内受：左下段払。
（16 挙動、の反対）
- 22 挙動、左足を軸に、背面回りにて右足を真正面前方へ移し、（騎馬立）となりながら、右中段拳槌横打。
- 23 挙動、右足を軸に、背面回りにて左足を真正面前方へ移し、（騎馬立）となりながら、左中段拳槌横打。
- 24 挙動、左足を軸に、前回りにて右足を真正面前方へ踏みだし、（騎馬立）となりながら、右中段拳槌横打。
「22 挙動（後ろ回り）：23 挙動（後ろ回り）：24 挙動は（前回り）、この形の一つの特徴である。」
- 25 挙動、右足の位置はそのまま、左足を斜め前方に踏み出し、（左前屈立）となりながら、ゆっくり、絞るよう
に左中段縦手刀受。
- 26 挙動、両足そのまま（左前屈立）、その場で右中段逆突。
- 27 挙動、両足そのまま（左前屈立）、その場で左中段順突。
（26 挙動：27 挙動は、連突）
- 28 挙動、そのままの姿勢で右中段前蹴。
- 29 挙動、蹴り足を元の位置に下ろし、（左前屈立）となりながら、右中段逆突。
（21 挙動、同じ）
「25 挙動から 29 挙動までは、五十四歩小の：4 挙動から 8 挙動までと同じ」
- 30 挙動、両足そのまま、（左前屈立）その場で、右中段内受、左下段払。
（21 挙動、と同じ）
- 31 挙動、右足の位置そのまま、右足を軸に、回れ左の要領で左足を右足の横へそろえつつ、正面向きとなり、
（騎馬立）となりながら、左中段内受：右下段払。（30 挙動、と反対の受になる。）
- 32 挙動、立ち方姿勢はそのまま（騎馬立）、その場で左腕のみを動かして、肘を中心に下方へ回転させつつ、
左下段払に変化させる。右手は動かさない。（両手の下段払になる）
- 33 挙動、立ち方姿勢はそのまま（騎馬立）、その場で両腕の肘を中心に、ゆっくりしぼるように、内から回転さ
せつつ裏腕にて中段搔分受。
- 34 挙動、立ち方姿勢はそのまま（騎馬立）、その場で、左中段突。
- 35 挙動、立ち方姿勢はそのまま（騎馬立）、その場で、右中段突。「気合!」
（34 挙動：35 挙動は、連突）

「直れ」左足を右足にそろえ、閉足立となりながら、最初の用意の構えに戻る